



光の鼓動

-都市のスタジアム-

k03024 岩本 怜子

CONCEPT

生命の時間軸と環境問題は繋がりがあある。
本当の「豊かさ」を求めて汚染された時間と自然を浄化する仕掛けを建築空間に組み込む。

都市にはそこら中に機械製品が転がっており、一つの仕事を一人で楽に成し遂げることができる環境にある。昔に比べ設備も揃って豊かな暮らしが手に入ったかのように見えるが、しかし人々はこの利便性により人や自然に対する思慮が欠け、人と人、人と自然の繋がりが失われつつある。人から始まるちょっとした「ズレ」は周辺の環境だけでなく自然環境にまで及び、それが連鎖状になって今問題になっている人間関係や環境破壊を生み出す大きなズレの要因となっているのではないか。この「ズレ」を修復し、人々にゆとりを持たせることによって崩壊しつつある生態系の循環を取り戻す仕掛けを都市に埋め込む。

時間軸について

時間軸とは、各生命に流れている時間のリズムの指標のこと。この時間軸が他の生命のそれとうまく噛み合っていない状態が現代社会である。情報社会による周囲のめまぐるしい変化に、人々は焦燥感と不安を感じストレスをためる。また循環再生を待たずにエネルギーを過度に消費することによって、資源が枯渇化し生態系のバランスは崩壊する。自分の時間軸ばかり気にして余裕がない現代人は、他人や自然への思いやりや配慮が欠けてしまっている。

規模の確定

今回テーマの一例として取り上げるのは、環状23区の最も外側を走る環状八号線である。都心のオフィス街より少し離れた住宅地は、幹線道路や鉄道などのインフラに取り囲まれ、騒音や大気汚染の問題に悩まされている。また景観においても、住宅街と渋滞道路を切り離すため狭い地に高層ビルが林立し、運転者は単一で味気ない風景の中を走行することになる。環八と住宅地の間には大きな壁が立ち塞がり、相互の理解を妨げている。

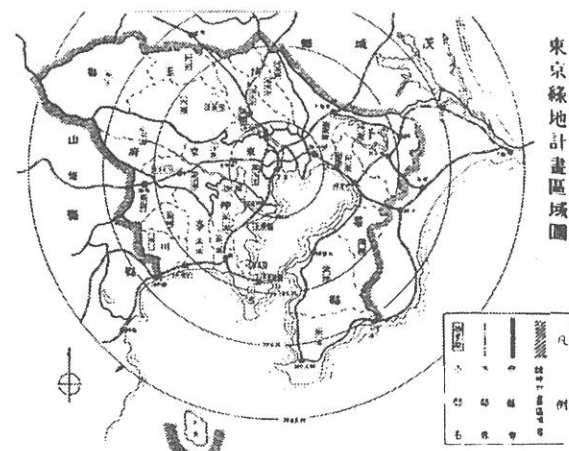
具体案

そこでこのような問題を解決するひとつの提案として、アメニティ分野を取り入れた浄化施設を提案する。環状八号線に点在する緑地公園を結ぶようにして、交差点にタワーを変曲点に蛇行広場を設けて街を俯瞰できるアメニティ施設と、全体をつなぐ浄化施設を配置するのである。

これによって環八を通して訪れてきた人々は、そこがどのような街なのか、あるいは自分がどのような場所にいるのかを認識することで、土地勘が身に付き、環八周辺の街に親しみを覚えることができる。親しみを覚えることでその街に出入りし易くなる。また浄化施設では都市の騒音や排出物を光のアメニティを通してさまざまな時間軸を表現し、そこへ訪れた人々が体感できるような仕掛けをもたせる。このようにして徐々に人と人、人と自然の相互理解を深めることができるのだろう。

光の鼓動とは

光の鼓動とはつまり、光を通して生命を表現すること。同じ光を見、同じ光を感じることで様々な生命力の交歓が行われる。一日、一ヶ月、一年と変化する大きな時間の流れに佇むことは、現代の人々にとって大切な事ではないだろうか。



東京緑地計画区域図

もう一つの意味

環状八号線は、西洋や欧米の環状緑地帯パークシステムに影響を受けた日本が、都市の拡張を防止するために戦前より計画していたグリーンベルト計画の軌跡である。これが、環八近辺に緑地が点在している理由なのである。

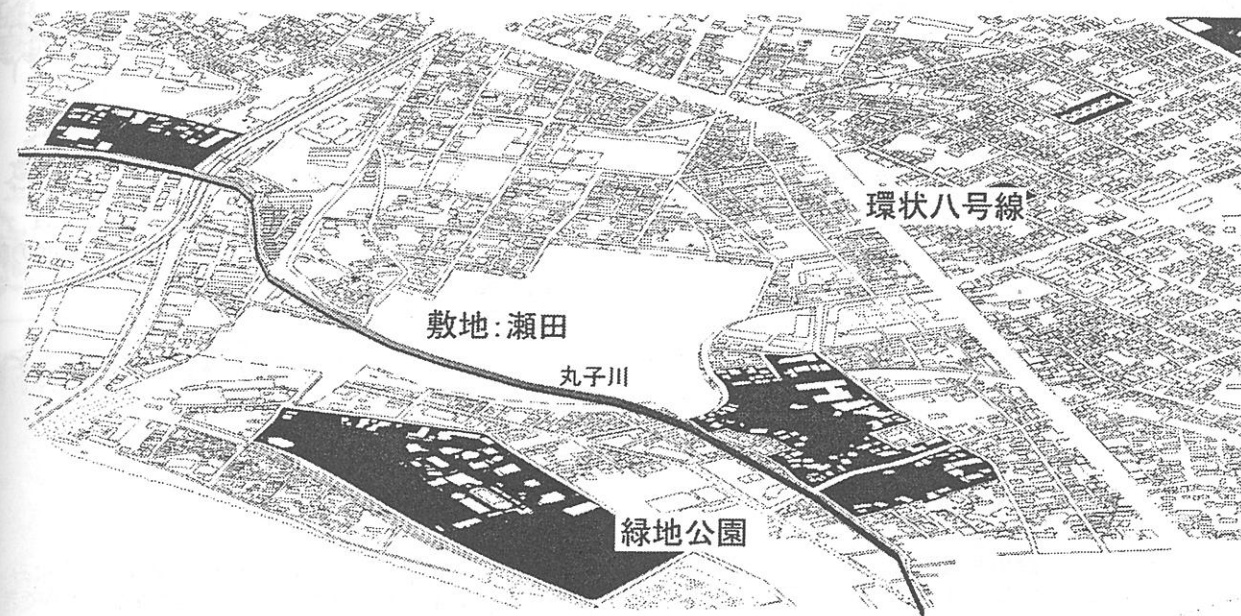
そこで今回は、緑地と緑地の間を緑道で埋めて昔の計画をただ再現するのではなく、生態系の循環を促進させ人との繋がりを改善できるような、現代に求められ未来に繋がるグリーンベルトを計画する。

左図は北村徳太郎をはじめとする、東京都で初めて策定された地域計画のマスタープラン「東京緑地計画」「都市と緑地」石川幹子著より

指導教員 伊藤洋子教授

敷地 世田谷区瀬田

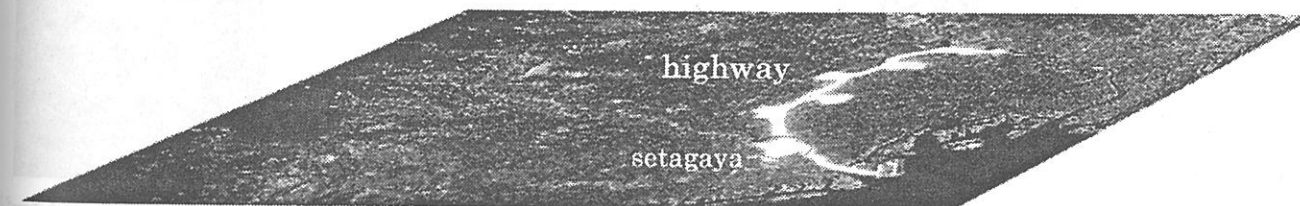
また環八を含む地区内でも敷地の対象に絞った世田谷区は、羽田空港から続く環八・東名高速・神奈川県へと続く第三京浜などの幹線道路や地下鉄などのインフラに囲まれ、人々の目が集まり易い。住宅から始める人々の「豊かさ」に対する意識の波が、他地区・他県・他国へと広がることを考えた。



環八沿いの公園

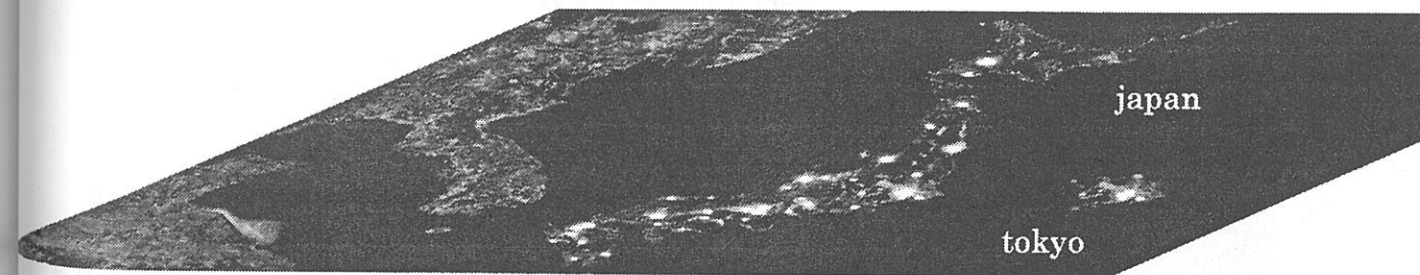
高層ビルが林立していないこと。大規模な地下空間が無いこと。住宅街であること。清掃工場があること。幹線道路や鉄道などのインフラが通っていること。河川が暗渠化されていないこと。これら全ての条件を満たす環八周辺は、太陽光・熱エネルギーが得易く、地下空間を設け易く、環境問題に貢献しやすい。

よってインフラと河川の条件を利用したシステムが考案できる。環八周辺の地区は緑地公園を繋ぎながら浄化システムを内包し、その上に場所性を将来性加えることでそれぞれの土地のランドマークができる。緑地公園によってネットワーク化される中で、各地域が固有のデザインを持つことは、住民一人一人に刺激を与え発展に繋がる。



平野部の公園

環境問題や社会問題は東京都だけの問題ではない。平野部に発展する「都市」の問題である。雨水利用に関しては墨田区が・福岡県が活発である。というように単体で取り組んでも日本は豊かにならない。このアメニティ型浄化施設は中心にオフィスビルが集まり、周りに住宅街が囲んでいる都市に必要な建物である。また、「都市のスタジアム」というのは「都市の環境に必要な施設で様々な生命の歓喜」を意味する。生命の時間のリズムを表現する「光の鼓動」はその競技内容(観賞するもの)であり、誰でも参加できるということによって「スタジアム」となる。今回は住宅から始める広がりテーマに環八を選んだが、都心部の方や外郭道路沿いでの対策も考えられる。時間のリズムが巧く噛み合わずにバラバラに担当するのではなく、皆が参加して、そこから出来上がるものこそが「日本の顔」となるのではないだろうか。



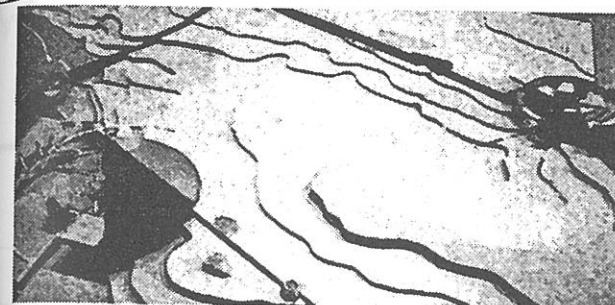
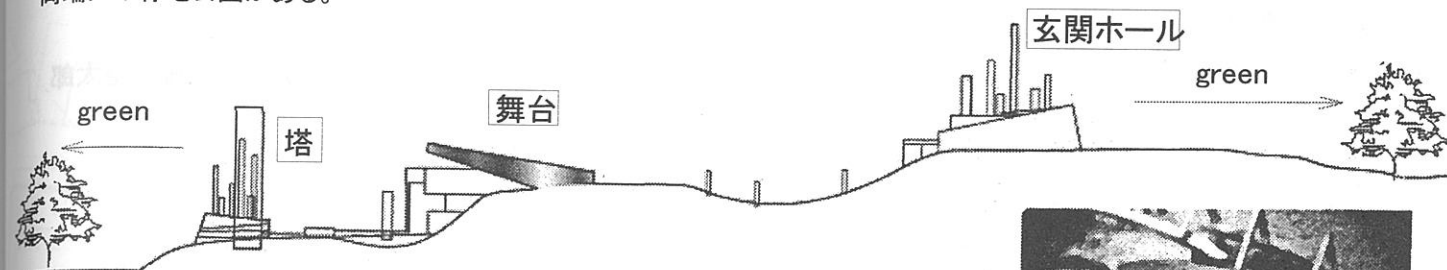
自然を破壊するために最新技術を使うのではなく、人が自然と共存するための舞台装置として建物の中に組み込み、差別無く様々な生命が参加し歓喜できる施設。それが都市のスタジアムであり、光となって表れる生命の鼓動を生むのである。

指導教員 伊藤洋子教授

Section roughly

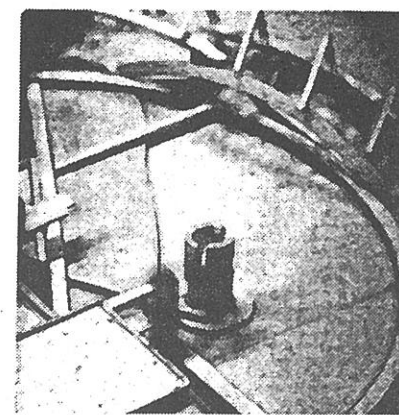
A-a断面

多摩川によってできたでこぼこを利用した舞台軸。
両端には緑地公園がある。



← 舞台の基盤となる国分寺崖線以外にも、玄関ホールと舞台を結ぶ道は、多摩川によって削り取られたレベルの差がある。

この差を利用して雨水溝をストリートファニチャーとして光を灯し、舞台への道しるべとする。また、玄関ホール以外からのアクセス方法は、舞台の目前にある塔の光によって誘導する。



↑ 舞台のメインとなる多目的ホール。舞台の動線やボックスはすべてここに流れるように配置されている。

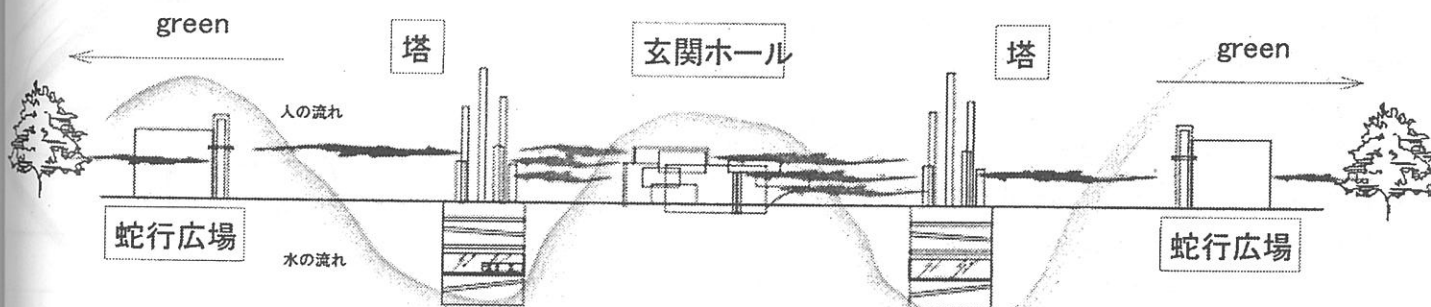
全体の繋がり

玄関ホールでグリーンベルトの全景を俯瞰→ 雨水溝などのストリートファニチャーによる誘導
→ 舞台での様々なレクリエーションスペース → 塔でスタジアムを俯瞰

緑地公園 → 浄化設備 → 環境浄化「生態系の循環」→ 時間浄化「憩いの空間」

B-b断面

両端は緑地公園に接し、車・人・空気・水などの流動を立体的な波の流れを演出する。



Water

緑地公園を通して得られた雨水や雑用水は、蛇行広場のポンプにより一旦持ち上げられる。歩道より上を走る水のガラス管は交差点のタワーによって地下空間に貯水される。一定の時間を置いて汚れを落とした水は、地下鉄に沿って浄化機能を持つ舞台へと運ばれ、さらに浄化される。

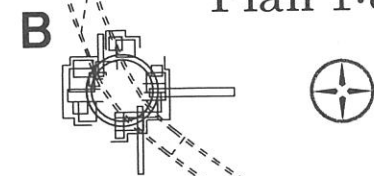
People

緑地公園から始まり緑地公園で終わる。基本的には環状8号線両側に従来の歩道との境目にガラスのチューブを積層させる。上にいくにつれ透明度がアップし、舞台の玄関ホールより塔の歩道管は舞台を眺めることができるような形になっている。

Car

世田谷区における環状8号線は「環八雲」と呼ばれる大量の排気ガスが空を埋め尽くすほどに渋滞する。この原因となる横断歩道を空中に浮かすことで信号による渋滞をなくし、街と馴染み市民と親しむための広場を蛇行店に設けてストレスの少ない車道にする。

Plan 1:8000



環八蛇行広場

街を俯瞰する場。サービスエリアのようなもの。幹線道路から流れ込んでくる、様々な人々と交流するきっかけとなる場所でもある。

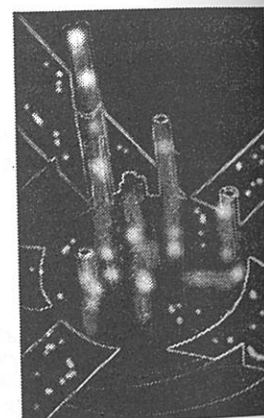
一日の変化によってその日の事を振り返り、季節の変化によって一年の終わりを振り返る。液晶の原理を使った記憶回生の場。スタジアムの看板代わりでもある。

※(画像) 人や生物や自然の様々な時間軸と触れ合い、生命の鼓動を表現した光の演出によって混ざり合う。

舞台

環八蛇行広場

舞台への玄関ホール。環八よりアクセルする車が、建物の骨組みを通して街やスタジアムを眺めることができる。地下に駐車場がある。



光の演出としての塔のイメージ

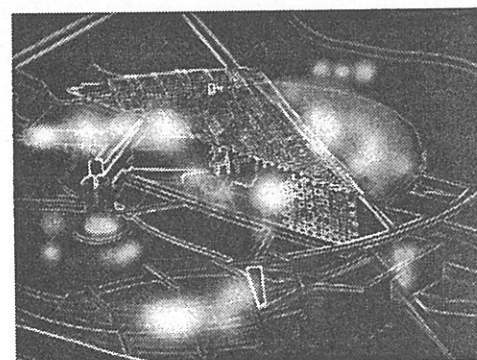
塔

地下鉄の風力を電力に変換。緑地公園と、水と空気の交換。

舞台

水質保全・浄化
住宅の雑用水や雨水を収集し、浄化することで再利用水に変える。
周辺の住宅から生活排水や雨水を収集し、下流に流す前に浄化してから流す仕組み。

エネルギー循環
太陽光熱や風力など自然エネルギーを吸収する場。
太陽光・熱および、地下に埋め込んだ風洞から鉄道による風力、さらに空中に飛び交う電波を電力に換える、自然と人工のエネルギーを吸収する塔。



※ 光の演出としての舞台イメージ

環八蛇行広場

大気浄化システム。緑地から得る酸素を利用して汚染物質を除去する。また渋滞を解消する場でもある。蛇行点の高層ビルによる圧迫感を無くし視点をあげ車がベムーベに流れるようにしている。